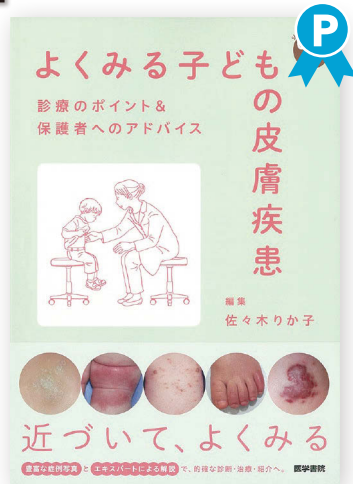


#医学書院の新刊本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.1325)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

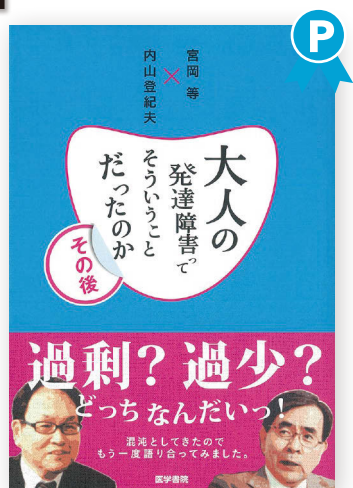


《ジェネラリストBOOKS》 よくみる子どもの皮膚疾患 診療のポイント&保護者へのアドバイス

佐々木りか子＝編

本体 4,000 円＋税／A5 判・256 頁／医学書院／2018

小児科・内科を訪れる子どもの多様な皮膚症状を、豊富な症例写真とともにエキスパートがわかりやすく解説。外来で診ることが多い子どもの皮膚疾患の「原因」「症状」「鑑別」「治療」のほか、感染症では「登校（園）の目安」、あざ・色素異常では「治療や紹介の目安」もわかる。保護者への情報提供にも重点を置いており、最新のエビデンスに基づくスキンケアの指導法から、的確なホームケアへつなげることができる。



大人の発達障害って そういうことだったのか その後

宮岡 等、内山登紀夫＝著

本体 3,000 円＋税／A5 判・330 頁／医学書院／2018

好評書『大人の発達障害ってそういうことだったのか』の続編企画。今回も一般精神科医と児童精神科医が、大人の発達障害(自閉症スペクトラム・ADHD など)をテーマに忌憚のない意見をぶつけ合った。過剰診断や過少診断、安易な薬物投与、支援を巡る混乱など、疾患概念が浸透してきたからこそ浮き彫りになってきた新たな問題点についても深く斬り込んだ。「身体疾患の陰に何かある?」と思われる患者さんの理解のために!



産婦人科ベッドサイドマニュアル 第7版

青野敏博、苛原 稔＝編

本体 6,600 円＋税／B6 変判・536 頁／医学書院／2018

初版以来 27 年にわたり圧倒的信頼を得てきた、ポケットサイズの産婦人科最強ベッドサイドマニュアルの第 7 版。構成新たに 123 テーマを明快解説。「再発卵巣がんに対する化学療法」「遺伝性腫瘍」「AMH の測定意義」「不妊症における子宮内膜症の治療」「女性アスリート診療の留意点」「骨盤臓器脱」「脂質異常症」など、新規収載項目も多数。外来でベッドサイドで、産婦人科の「困った」「わからない」には、この 1 冊が効きます!